



【華厳ノ滝】日本三大名瀑とは、日光の「華厳ノ滝」の他、熊野の「那智の滝」、奥久慈の「袋田の滝」を指すといわれている。



【中禅寺湖】遊覧船で手軽にクルーズを楽しむことができるほか、ボートの貸し出しサービスなどがある。

とらぎの百様
2
100



四季折々の日光の大自然に感動

日光の絶景様

(華厳ノ滝、いろは坂、中禅寺湖、竜頭ノ滝)



【上ノ竜頭ノ滝】【下ノいろは坂】下り専用の第一いろは坂と上り専用の第二いろは坂があり、合計48か所の急カーブがあることから「いろは48文字」にたとえてこの名がついた。

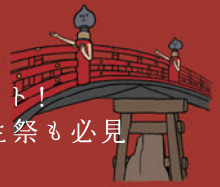


「日光を見ずして結構というなかれ」という格言めいた言葉が生まれるくらい、日本屈指の観光地として知られる日光には、多くの人の心を惹きつけてやまない「いくつもの絶景」が存在します。

まず、日光市街と中禅寺湖・奥日光を結ぶ観光道路「いろは坂」では、途中、標高差四四〇メートルの徐々に変わっていく景色や、展望台からの抜群の眺めが楽しめます。「いろは坂」を登った先にある「華厳

ノ滝」は、日本三大名瀑のひとつとしてあまりに有名。高さ九十七メートルを勢いよく一気に流れ落ちる様子は、思わず息をのむほどの迫力です。「華厳ノ滝」の上流にある「中禅寺湖」は、かつて各国の大使や外交官の避暑地として賑わったところ。この「中禅寺湖」の上流に位置する「竜頭ノ滝」は、滝つぼ近くの大きな岩によって水の流れが二分された様子が、竜の頭に見えることから「竜頭」という名がついたと言われています。

とちぎの百景
3
100



良縁のパワースポット！
「花家体」で飾られた弥生祭も必見

日光 二荒山神社様



【神橋】山口県錦帯橋、山梨県猿橋とともに、日本三大奇橋のひとつに数えられる。



日光二荒山神社は、霊峰とあがめられし二荒山（男体山）を御神体山と仰ぎ、日光の山岳信仰の拠点として古くから崇拝されている神社です。いろは坂や華厳ノ滝も含まれる広大な神域を誇り、日光山内の入口を飾る木造の美しい橋「神橋」もまた、日光二荒山神社の建造物です。平成十一年、「日光の社寺（日光東照宮、日光山輪王寺、日光二荒山神社）」として、世界遺産に登録され、日光二荒山神社は、建造物二十三棟が、世界遺産に登録されています。また主祭神「大己貴命」は、招福や縁結びの神様で、近年、縁結びのパワースポットとして人気が高まっています。

とちぎの百景
4
100

開山1250年の神仏習合の霊山。
家光公霊廟大猷院もある

日光山輪王寺様



日光山輪王寺には、「輪王寺」という建物があるわけではなく、本堂（三仏堂）・大猷院・慈眼堂・常行堂・大護摩堂・護法天堂・四本龍寺などのお堂や本坊、さらに十五の支院の全体を指して日光山輪王寺と総称されています。日光山は約一二五〇年前に勝道上人により開山されました。鎌倉時代には、源頼朝の寄進などが行われ関東の一大霊場として栄え、江戸時代には三代將軍家光の「大猷院」が建立されるなど隆盛を極めました。なお、日光山輪王寺の建造物は、国宝である「大猷院」を含め四十棟が世界遺産に登録されています。

【上／本堂（三仏堂）】約50年ぶりの大修理（平成19～30年度・予定）が行われている。
【中／国宝の大猷院】【下／日本庭園道遥園】



祭りに繰り出される彫刻屋台のうち、江戸時代には建造された13台と当時の彫刻をつける1台の合わせて14台が、鹿沼市の有形文化財に指定されている。

ちぎの百様
5
100

数々の豪華彫刻屋台とお囃子の華麗な競演

鹿沼彫刻 屋台まつり様



鹿沼の屋台は、江戸の屋台の系統を引く「踊り屋台」から発展したものと
言われていて、元々は氏神へ奉納する
芝居や踊りのための移動舞台でした。
前面を豪壮で緻密な彫刻で飾られ、
豪華絢爛、荘厳華麗な様子から、「動く
陽明門」ともいわれています。

一番有名なお祭りは、「鹿沼秋祭り」。
これは十月の第二土・日、二日間行われる
今宮神社の例祭で、二十数台の彫刻屋
台が市街地を練り歩き、「ぶっつけ」と
呼ばれるお囃子の競演が行われます。
ちなみに今宮神社は、七八二年の創立
が伝えられ、日光二荒山神社の分社の
性格をもち、日光山鹿沼今宮権現と
称したといわれています。